

## 令和7年度 釜石市自然遊び場事業補助金活動報告書

【団体名：バリアフリーでつくる釜石自然遊びの会】

|       |  |      |             |
|-------|--|------|-------------|
| イベント名 | インクルーシブないこいの広場   |      |             |
| 開催日   | 令和8年3月28日  | 開催時間 | 10:30~14:00 |
| 開催場所  | 根浜シーサイド  |      |             |
| 対象者   | 岩手県在住の親子、障がいや病気をお持ちのお子様のご家族  |      |             |
| 参加者数  | 3組（大人7人、子ども5人）   |      |             |
| 活動内容  | <p>根浜シーサイドの室内の施設とキャンプサイトにてテントを準備、簡易的ですがバギーの子達でも利用できるオムツ替えシートをすることで、障がいや病気を持っている兄弟がいるお子様が、自由に外で沢山遊ぶ。両親で出かける事が難しいご家族でも、お外で元気に遊べる、見守りやすい環境を整え、自然遊びや外の風を感じながら、家族ですごす場を作りました。外出することへの寄り添いの想いから、食事を交流しながらできる環境もつくりました。</p>   |      |             |
| 開催結果  | <p>障がい、病気のある家族、また理解のある家族での開催でした。少し肌寒い日だったので、病気、障がいを持っている当事者は室内で過ごしました。きょうだい児達は、ビーチアカデミーのスタッフの見守りのもと海に行き、宝物さがしをして、砂浜を綺麗にしながら、沢山の宝物を拾ってきて洗い、（貝殻や海藻、流木、プラスチック等）想像力を膨らませて、楽しんでいました。嬉しそうにお家に持って帰りました。キャンプサイトでおやつを食べたり、お昼には家族同士交流しながら、岩手のお米を食べ比べしました。お気に入りのお米を見つけたお子さんは、普段はしないおかわりをして、家族の方を笑顔にしていました。</p> <p>きょうだい児達は、すぐに仲良くなり、時間や家族の居場所を心配することなく、自然の中、元気に思いっきり遊ぶ姿がみられました。</p> <p>きょうだい児達が社会に対して安心感を得て成長していくこと、障がい家族にあっても、自分の人生を選択しけること。</p> <p>障がいや病気のご家族への理解が社会全体へと広がるには、家族であるきょうだい児への支援が特に大切だと思います。</p> <p>この様な取り組みは、微力ではありましたが、社会にとって意義のあることだと感じています。</p> <p>子供向けのイベントでどのような配慮があることが社会や街にとって良いことか、主催として勉強しながらではありますが、きっかけになることで、言葉にする場となることで、少しずつ社会全体のイベントへ浸透していていることを実感しています。</p> |      |             |

写真

